

特定農業振興ゾーン「宇陀市 伊那佐東部地区」設定計画の概要について

地域の現状

- 榛原澤・大貝を中心とした51.5ha(農地面積)
(国営総合農地開発事業で整備した農地(約22ha)を核とした地域)
- 水稻の他、高原野菜(ミズナ、ハウレンソウ、コマツナ等の軟弱野菜)を中心に、有機野菜やダリアも栽培
- 全国レベルで**優良とされる農業法人等**、多様な担い手の確保が見込まれる地域
- 関係3集落が連携し、あすなろ営農組合を設立(構成員約60名)農地、水路、農道、ため池等の保全管理を実施。

目指す将来像

大和高原宇陀ブランドによる農業振興を目指した軟弱野菜、有機野菜、花き等の生産拡大

設定計画の概要

- **軟弱野菜(ミズナ、コマツナ、ハウレンソウ等)や有機野菜、花き(ダリア)等の高収益作物の生産拡大と品質や生産性向上**
- ・ 農地中間管理事業を活用して、農業法人や大規模農家、新規就農者など多様な担い手に農地を集積
- ・ 用排水路施設の更新や整備、土層改良等の基盤整備
- ・ 高収益作物の生産拡大のためハウスなどの施設整備を進め、省力化のためスマート農業の導入を検討

